



広報

いせ

2007

11月号

No.25

高速船が来春に就航	2
介護予防に取り組みましょう!	3
市・県民税の改正	4
子どもからのSOS	6
健康づくり通信	15
情報コーナー	19
まちの話題	26



中学校陸上競技選手権大会伊勢度会地区予選大会
(9月28日・29日、撮影場所：県営総合競技場陸上競技場)

「広報いせ」は、市のホームページ(<http://www.city.ise.mie.jp>)でもご覧いただけます。



再生紙(古紙100%)を使用しています。



高速船が来春に就航



交通政策課 (☎21) 5593)

市は、宇治山田港と中部国際空港を高速船で結ぶ「伊勢湾海上アクセス」の整備を進めています。
この計画は、平成7年度から宇治山田港湾の整備とともに計画されてきたもので、県南部地域の海の玄関口となり、また、伊勢志摩地域の観光振興や地域活性化を図ることを目指しています。



ターミナルのイメージ図

ターミナルの建物や係留施設・駐車場などは市が整備し、船の運航は民間の運航事業者が行います。
さらに、景観に配慮したベンチや階段護岸などを整備して公園の機能を持たせるとともに、周囲にたくさんの木を植え、ターミナル全体が「河口に浮かぶ緑の島」をイメージできるようにしています。

中部国際空港まで約60分

計画では、宇治山田港と中部国際空港を、約60分、1日につき6往復程度の運航を予定しています。
就航日については、来春を予定しています。

ターミナルは
緑の島をイメージ

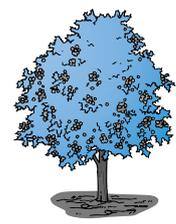
ターミナルは、下野町の埋め立て地に整備します。
敷地内には、約250台の車を収容できる駐車場と、バス・タクシーなどの待機場を整備します。また、約350㎡の建物と、高速船や木造船「みずぎ」などが発着できる係留施設を整備します。

工事が始まりました

このターミナルは、宇治山田港を特徴づけるランドマーク(景観要素)となり、市民の皆さんが憩える場所になるような計画となっています。

来春の就航に向け、工事が始まりました。
現在、船の停泊地周辺の

水深を深くするための浚渫が終わり、今後は、ターミナルの敷地造成、建物の建築、進入道路の工事などが行われます。
周辺地域の皆さんには、ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。



航路の名称を募集します

この航路が、市民の皆さんや観光客に親しまれ、多くの人に利用していただけるよう、航路の名称を募集します。
※他市の例では、「津エアポートライン」「松阪ペルライン」などがあります。
募集期間 11月1日(木)～26日(当日消印有効)
応募資格 市内に在住または通勤・通学している人
応募方法 住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号・航路の名称・名称の理由を記入し、郵送・ファクス・Eメールで交通政策課(〒516-8601

岩淵1丁目7-29、FAX 21) 5522、アドレス koutsu@city.ise.nie.jp)へ
※市内に通勤・通学している人は、勤務先・学校の所在地と名称も記入してください。
選定方法 審査の上、市長が決定
※航路の名称の所有および使用に関する法的権利は、すべて市に帰属します。
※採用された作品を応募した人には、記念品を贈呈します。(応募者多数の場合は抽選)

笑顔で年を重ねるために(前編)

介護予防に 取り組みましょう!

健康課 ☎272435



介護予防とは、介護が必要な状態にならないための取り組みを行うことです。

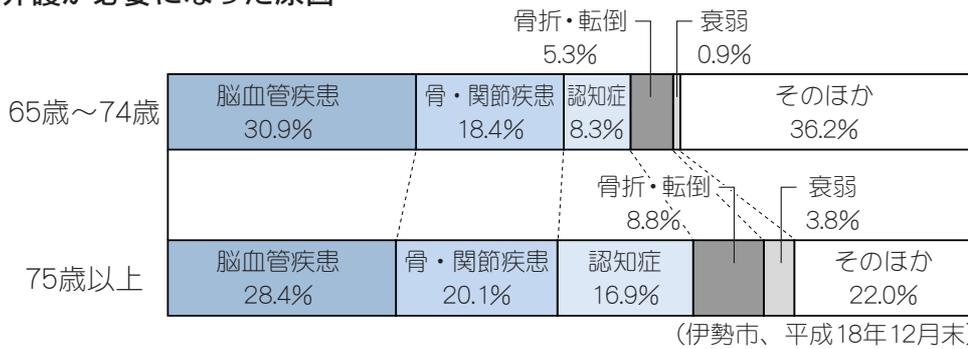
高齢期を迎えても、介護を必要とせず、住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく生き生きとした生活を送るために、心身の衰えを予防・回復しましょう。

介護が必要になる原因

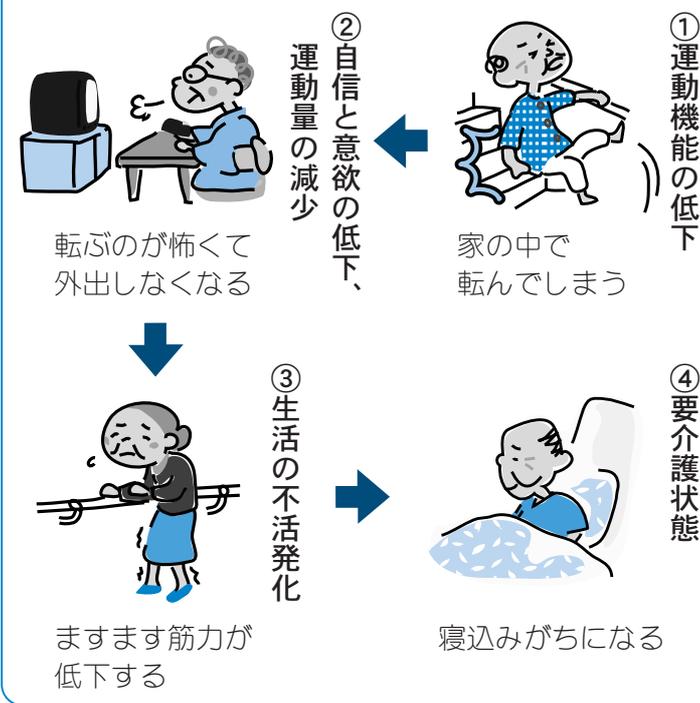
伊勢市における65歳以上の人の介護が必要になった原因は、下のグラフのとおりです。

75歳以上の高齢になると「認知症」「転倒・骨折」「高齢による衰弱」が原因で介護が必要になる人の割合が増えていきます。

介護が必要になった原因

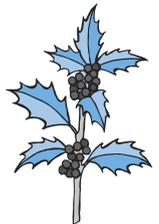


要介護状態になるまでの一例



きっかけは身近なこと

心身の老化と生活の不活発な状態が積み重なると、徐々に生活機能が低下し、何らかの出来事をきっかけに、介護が必要な状態に至ることが多く見られます。高齢になるほど、老化に伴う心身機能の低下を上手に防ぐことが重要です。



自分らしく生き生きとした生活を!

要介護状態になるのを防ぐためには、脳梗塞などの脳血管疾患の予防はもちろん、心身の働きが低下しないように、自分自身が積極的に取り組むことが大切です。「年を取ったのだから仕方がない」と思っていてあきらめてしまうと、寝たきりなどにつながるかねません。次に掲げる「生活不活発の兆し」に早く気づき、生活を

生活不活発の兆し

〜思い当たることは

ありませんか?〜

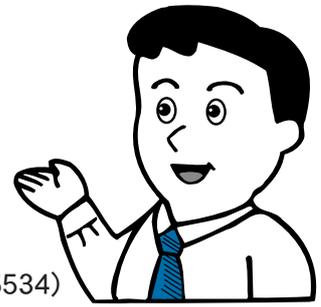
- 外出が面倒になってきた
- 日用品の買い物をしなくなった
- 階段を昇るのに手すりや壁につかまるようになった
- 歩くことが少なくなった
- 半年前に比べて固い物が食べにくくなった
- お茶や汁物などでむせることが多くなった
- 体重が減少してきた
- 近所付き合いが減ってきた
- 気分が落ち込み、楽しめなくなった

※「広報いせ」12月号では、「笑顔で年を重ねるために(後編)」として、「具体的な介護予防事業」について紹介します。

税の改正

経過措置などのお知らせ～

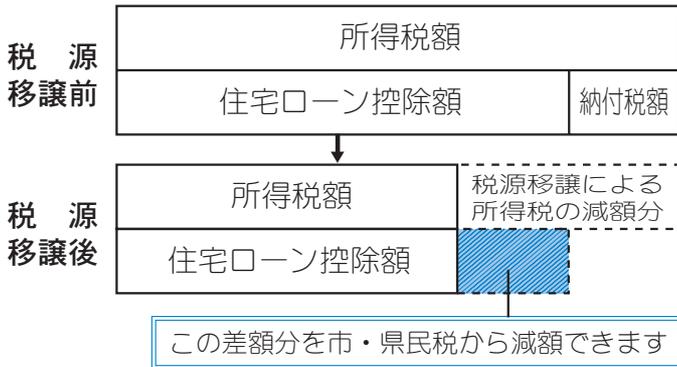
課税課市民税係 (☎21)5534)



所得税から住宅ローン控除額を引ききれなかった人への調整措置

税源移譲の影響による住宅ローン控除適用者の税負担の増加を防ぐため、調整措置が設けられました。

調整措置の対象者は、税源移譲の影響により、所得税から差し引く住宅ローン控除額が所得税を上回り、同控除額を差し引くことができない人などです。



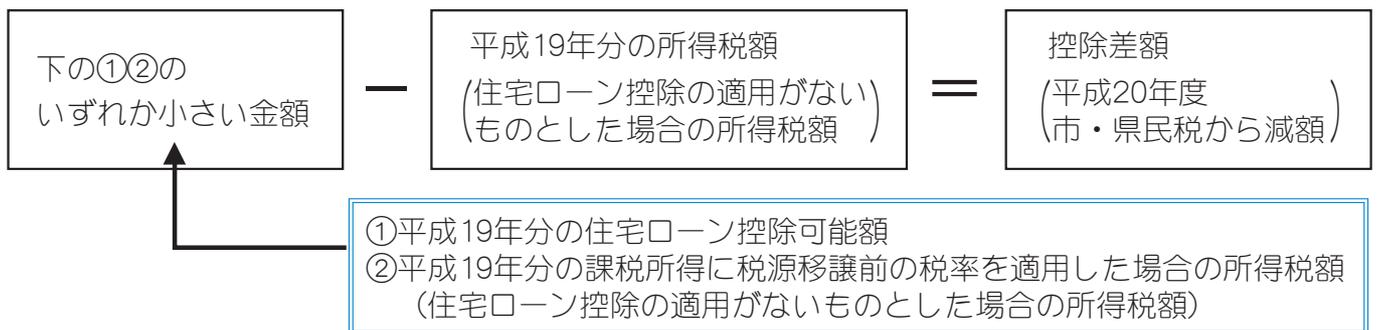
このような人（ただし、平成11年～平成18年に入居した人に限る）は、申告することにより、控除の差額に相当する額を、平成20年度以降の市・県民税（所得税額）から減額できます。

減額を受けるためには、その年の3月15日（平成20年は3月17日）までに、課税課へ「住宅借入金等特別税額控除申告書」の提出が必要です。

ただし、所得税の確定申告をする人は、税務署を通じて申告書を提出します。

なお、伊勢市において平成18年分で住宅ローン控除の適用がある人には、申告書を送付します。

計算方法



平成19年に所得が減って所得税が課されなくなっただけの人への経過措置

平成19年中の所得が大きくなり、所得税がかからなくなってしまう場合、申告をすれば、平成19年度分の市・県民税（所得割額）をこれまでの方法で計算した額に減額する経過措置が設けられました。

減額を受けるためには、平成20年7月1日～31日に、平成19年度に課税されていた市区町村（平成19年1月1日現在で住んでいた市区町村）へ「減額申告書」の提出が必要です。

なお、伊勢市に平成19年度と平成20年度の課税があり、減額対象になると思われる人には、減額申告書を送付する予定です。

そのほかの人で、減額対象になると思われる人は、平成19年度に課税されていた市区町村へ問い合わせてください。

平成20年度

市・県民

～国から地方への税源移譲に伴う



65歳以上の人への非課税措置(経過措置)

	昭和15年1月2日以前に生まれた人	昭和15年1月3日以降に生まれた人
平成18年度	3分の1を課税	全額で課税
平成19年度	3分の2を課税	
平成20年度～	全額で課税	

昭和15年1月2日以前に生まれた人で、合計所得金額が125万円以下の人への「非課税措置」が廃止となりました。

平成18年度と平成19年度は経過措置として減額措置が行われていましたが、平成20年度からは経過措置が廃止となります。

65歳以上の人への非課税措置の経過措置が廃止

損害保険料控除と地震保険料控除

保険料の種類	改正前		改正後	
	市・県民税	所得税	市・県民税	所得税
短期損害保険料	最高2,000円	最高3,000円	制度がなくなります	
長期損害保険料	最高10,000円	最高15,000円	平成18年12月31日までに契約した場合、経過措置があります	
地震保険料	制度はありませんでした		保険料などの額の2分の1 最高25,000円	保険料などの額 最高50,000円

地震災害に対する個人の備えによる将来的な負担の軽減を図るため、地震保険料控除が創設されます。

これに伴い、これまでの損害保険料控除が変わります。

損害保険料控除の改正と地震保険料控除の創設

税源移譲を含む平成19年度の改正について、「広報いせ」6月号でお知らせしました。



平成19年4月1日以降に取得した減価償却資産の経費の算入について、残存価額を廃止して、耐用年数経過時点で1円まで償却することになりました。

また、これに伴い、償却率の改正も行われました。

詳しくは、「確定申告書」または「市・県民税申告書」と同封されている「収支内訳書の書き方」をご覧ください。

減価償却制度の改正

●平成19年3月31日までに取得した資産の計算方法 (平成19年2月に98万円で軽トラックを取得した場合)

減価償却資産の名称等(繰延資産を含む)	面積は量 積は数	取得年月	①	②	償却方法	耐用年数	⑧	⑨	特別償却費	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
			取得価額	償却の基礎になる金額			償却率	本年中の償却期間								
軽トラック	1	19 2	980,000	882,000	定額	4	0.250	11 12	202,125	0	202,125	100%	202,125	777,875		

$980,000円 \times 0.9$
 $882,000円 \times 0.250 \times 11/12$
 $980,000円 - 202,125円$
 取得価額の5%まで償却する

●平成19年4月1日以降に取得した資産の計算方法 (平成19年4月に98万円で軽トラックを取得した場合)

減価償却資産の名称等(繰延資産を含む)	面積は量 積は数	取得年月	取得価額	償却の基礎になる金額	償却方法	耐用年数	償却率	本年中の償却期間	特別償却費	本年分の普通償却費(④×⑦×⑧)	本年分の償却費合計(⑩+⑪)	事業専用割合	本年分の必要経費算入額(⑬×⑫)	未償却残高(期末残高)	摘要
軽トラック	1	19 4	980,000	980,000	定額	4	0.250	9 12	0	183,750	183,750	100%	183,750	796,250	

そのまま同額を記入
 $980,000円 \times 0.250 \times 9/12$
 $980,000円 - 183,750円$
 取得価額を1円まで償却する

気付かないふりをしていませんか？

子どもからのお母さん

こども課(☎215561)



子どもへの虐待があつてを
絶ちません。

全国の児童相談所が把握
している児童虐待の件数は、
ここ数年、増加し続けてい
ます。伊勢市とその周辺市
町では、平成18年度に51件
の児童虐待が報告されてい
ます。(三重県児童相談セ
ンターの統計による)

児童虐待は、主に家庭内
など、ほかの人には見えに
くい所で起こります。
そのため、虐待が行われ
ていることに気付かず、重
大な結果になってはじめて
虐待の事実が明らかになる
こともしばしばあります。
児童虐待から子どもを守
るために、わたしたちにて
まえることは何でしょうか。

まずは、「児童虐待とは
どんなことなのか」「虐待
を受けた子どもがどんなサ
インを出すのか」を知り、
児童虐待が疑われるような
子どもや家族を発見したと
きは、児童相談所や市など
へ連絡をすることです。

市は、児童虐待を防ぐこ
とを目的に「伊勢市児童虐
待防止ネットワーク会議」
を設置しており、市、南勢
志摩児童相談所、伊勢警察
署、小・中学校、児童福祉
施設、民生委員・児童委員
など、子どもにかかわりの
ある機関が参加して、活動
を行っています。(左ページ
「伊勢市児童虐待防止ネッ
トワーク会
議」参照)



子どもや家族の気になる
様子から、児童虐待のおそ
れがある場合は、同ネット
ワーク会議(こども課内、
☎215561)へ、まずは
電話してください。

連絡を受けた同ネットワ
ーク会議は、関係者でチー
ムを組んで対応します。

なお、連絡をした人につ
いての情報など、秘密は守
られます。

また、結局、児童虐待が
確認できなかったとしても、
連絡した人の責任は問われ
ません。

連絡するのは勇気がいる
ことかもしれませんが、子ど
もの命や安全を守るために
は、考えて悩むだけでなく、
行動することが必要です。

子どもを虐待から守るための5つのポイント

- ①「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告)
児童虐待防止ネットワーク会議へ連絡してください。
- ②「しつけのつもり…」は言い訳
親の都合ではなく、子どもの立場で判断してください。
- ③1人で抱え込まない
「あなたにできること」より「みんなでできること」
を考えましょう。
- ④親の立場より子どもの立場
子どもの安全・命が最優先です。
- ⑤虐待は誰の近くでも起こり得る
決して特別なことはありません。



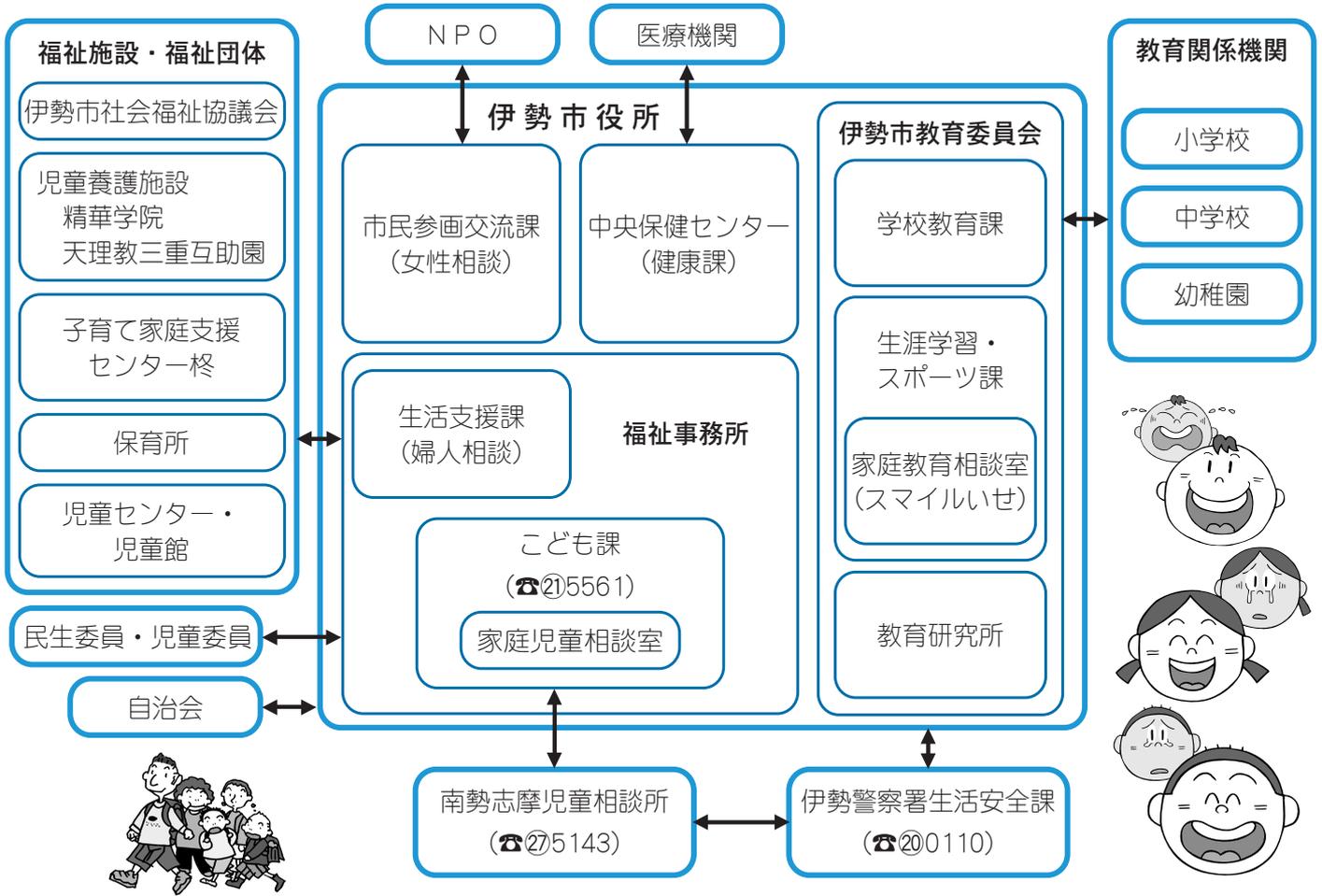
もし、児童虐待が行われ
ていた場合、状況が悪化す
ることも考えられます。
虐待が起こっているのか
どうか分からないまま「気
になるけれど…」と1人で
悩まず、同ネットワーク会
議へ相談してください。
また、個人や1つの機関
だけで児童虐待に対応する
のは、大変難しいことです。
かえって虐待を深刻化させ
ることもあるので、1人で
解決しようとせず、同ネッ
トワーク会議へ連絡・相談
してください。

問い合わせ(連絡先)

- 伊勢市児童虐待防止ネットワーク会議(こども課内)
(☎215561)
- 南勢志摩児童相談所(☎275143)
- 夜間・休日(緊急性があるとき)
子育て家庭支援センター^{ひいらぎ} 吹上2丁目
(☎289518)
- 三重県児童相談センター(☎津059・231・5902)



伊勢市児童虐待防止ネットワーク会議



どんな行為が「虐待」でしょうか？

～みんなで考えてみましょう～

「児童虐待」という言葉から、どのようなイメージを思い浮かべますか。

新聞やテレビで報道されているように、ひどい暴力や放置で子どもを死亡させてしまうような行為を想像するでしょうか。どこからが児童虐待になるのか、その線引きをすることは簡単ではありません。

次の状況は、児童虐待と言えるか言えないか、また、連絡する必要があるかないか、一度考えてみてください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 子どもにたばこの火を押し付ける | <input type="checkbox"/> 子どもにポルノビデオを見せる |
| <input type="checkbox"/> 酒に酔うと子どもをたたく | <input type="checkbox"/> 親がパチンコをしている間、子どもを車に残しておく |
| <input type="checkbox"/> 罰として、子どもを夜中まで外に立たせる | <input type="checkbox"/> 洗濯をしていない汚れた服を子どもに着せたままにする |
| <input type="checkbox"/> 子どもが言うことを聞かないので、長時間正座させる | <input type="checkbox"/> 子どもが危険な物(刃物など)で遊んでいるのに止めない |
| <input type="checkbox"/> 太っているのを気にしている子どもに、「デブ」などと言う | <input type="checkbox"/> ギャンブルで生活費を使い込み、子どもの給食費を払わない |
| <input type="checkbox"/> 子どもの話し掛けに答えない(無視する) | <input type="checkbox"/> 乳幼児が泣いても無視する |
| <input type="checkbox"/> 子どもに「あんたなんか生まれてこなければよかった」と言う | <input type="checkbox"/> 子どもが重い病気にかかっているのに、病院へ連れて行かない |
| <input type="checkbox"/> ほかの兄弟と比べて「お前はだめだ」と言う | |

※平成15年度に関係機関を対象として児童相談所が実施したアンケートを参考に作成したものです。

広島平和記念式典に参加して

学校教育課 (☎27881)

今年は、広島に原爆が投下されてから、62年目になります。

市は、8月6日に広島で開かれた広島平和記念式典に、中学生の代表者を派遣しました。

市内の全中学校12校から3年生12人が参加し、平和について学びました。

式典に参加した中学生の感想文の一部を紹介します。(敬称略)

なお全文は、市のホームページ(<http://www.city.ise.mie.jp>)に掲載しています。



広島で学んだこと

倉田山中 守田真依

平和宣言の中に「『こんな思いはほかの誰にもさせてはならぬ』と、忘れてしまいたい体験を語り続け、3度目の核兵器使用を防いだ被爆者の功績を未来永劫忘れてはなりません」という一節がありました。わたしは多くの人たちに平和への意識を高めてもらいたいと思います。世界から核兵器が完全になくなるのは、もう少し先の時代になると思います。でも、核兵器がなくなり、戦争のない世界はいずれ必ず訪れるとわたしは信じています。

広島平和記念式典に参加して

厚生中 日置拓真

僕は、広島へ行く際、全校生徒に「過去に起こった現実をしっかりと受け止めてきます」と言いましたが、目の前に広がる予想以上の現実を目を背けてしまいそうになりました。

広島平和記念式典に参加して、62年前の出来事を繰り返さないことや、その出来事からさまざまなことを学ぶことができました。後世の人たちが核兵器のない平和な世界で生きることができるよう、すべての人々が努力する必要があると思いました。

広島平和記念式典に参加して

宮川中 黒田望美

平和記念式典で子ども代表の「原子爆弾や戦争の恐ろしい事実や悲しい体験を、1人でも多くの人たちに伝えることはわたしたちの使命です。わたしたちはヒロシマを『遠い昔の話』にしません。」という誓いの言葉を聞きました。わたし1人の力は本当に小さいけれど、わたしはこれからもっと戦争の事を知り、原爆は二度と使用してはいけない事や、平和の大切さをたくさんの人々に伝えていきたいと思います。

平和の尊さ

港中 辻大地

被爆体験者の長尾さんの話を聞いて、なぜこんな恐ろしい原爆が投下されたのか、強い怒りと深い悲しみが心に押し寄せてきました。その時、長尾さんは、「アメリカを恨まないで欲しい。すべての人が賛成して原爆を投下したわけではないのです」と、言われました。戦争が愚かなものだと、すべての人が気付いたときに、世界中の戦争が終わると思います。世界の人々が平和な日々を送れるような未来にしていきたいです。

平和を願う気持ち

豊浜中 前田憲佑

平和記念式典の中でも印象に残っているのは、子ども代表の誓いの言葉の「平和な世界をつくるためには、憎しみ、悲しみの連鎖を、自分のところで断ち切る強さと優しさが必要です」ということです。今の世界の様子を見てみると、またいつ戦争が起こり、核兵器を使う時がくるかもしれないと思ってしまいます。でも絶対に、もうそんなことは二度と起こさないよう、世界が平和であるように、僕たちがしていきたいと思います。

伝えていかなければならないこと

北浜中 前川芽衣子

平和記念式典の原爆死没者名簿奉納では、新たに5000人が亡くなったと聞きました。原爆被災者の平均年齢も74歳になったそうです。平和宣言を聞いてたくさんの方が涙を流しているのが分かりました。平和の誓いで、子ども代表が「文化や歴史の違いを超えてお互いを認め合い、相手の気持ちや考えを知ることが大切です」と言っていたことが心に残りました。わたしたちはこのことを受け止め、二度と戦争をしてはいけないと思います。

被爆国の国民として

沼木中 山上紗貴

原爆はたくさんの方の命を奪い、たくさんの悲劇を生みました。あの日落とされた原爆は、「仕方なかった」ということにはしてはいけません。今、わたしたち日本人こそ、唯一の被爆国の国民として、核廃絶の先頭に立ち、世界平和に貢献すべきです。ところが今、憲法を変えてまで、日本を戦争ができる国にしようとする人がいることを大変不安に思います。平和のためにすべきことは何なのか、わたしたちはしっかり考えていかなければならないと感じました。

広島に行って

城田中 堀井就斗

平和記念式典の中でも一番心に残ったのは子ども代表による平和への誓いでした。この中で「原子爆弾や戦争の恐ろしい事実や悲しい体験を1人でも多くの人たちに伝えることがわたしたちの使命だ」と言っていました。この言葉は、僕の胸に刻まれ、「まったくそのとおりだ」と共感しました。世界唯一の被爆国として、世界中に原爆の恐ろしさを伝えられるのは、僕たち日本人だけです。僕も今回、広島で学んだことをこれから皆にしっかりと伝えていきたいと思います。

平和への願い

五十鈴中 村上太一

広島・長崎の惨劇を二度と繰り返さないためにも、唯一の被爆国と唯一の使用国、この2つの国が先頭に立って、世界の恒久平和を目指し、協力していかなければならない。そして、生涯話すまいと思っていた被爆体験の話をしてくださった長尾さんのように、わたしたちも自分にできることをしなければならぬ。まだまだ核の問題や争い事が絶えない世界だが、わたしたち一人一人の平和への願いは、確実にこの世界を平和へと導いていると思う。

広島平和学習について

二見中 出口拓真

実際に広島に行ってきた感想は、率直に言うとショックを受けました。なぜかというと、原爆の被害の資料を見て、本当にこんな爆弾を僕たちと同じ人間が落としかつたのかと思うと、ぞっとして声が出ません。僕は、この原子爆弾のことを、広島と長崎に落ちたとしが知りませんでした。でもそれは僕だけでしょうか。ほかにもたくさんいるのではないのでしょうか。僕も、この残酷な原子爆弾のことを現代の人に伝えるべきだと思いました。

被爆体験講話を受講して

小俣中 南杏奈

2日間で、最も記憶に残っているのは長尾さんの被爆体験講話です。長尾さんは、体験したことを話すのは嫌だそうです。でも「伝えなければ…これは1つの義務なのだ」と思っているそうです。長尾さんが話してくれた体験談は、本当に地獄としか思えませんでした。わたしは「核兵器は絶対反対」というメッセージを、1人でも多くの人に伝えなくてはならないと思いました。そして、戦争を知らないわたしたちだからこそ、戦争のない、平和な世界にしていくべきだと強く思います。

広島へ行って

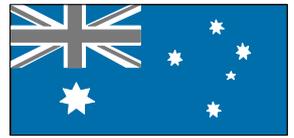
御園中 二村友梨

現在の広島は、都会で、美しい街に発展を遂げています。広島平和記念公園の周りには、マンションや市民球場が、何事も無かったかのように建っていて、あの残酷な惨劇があったとは思えないくらい復興を成し遂げていました。復興ができたのも、広島の人たちが「生きる」という希望を捨てずに、支え合ってきたからだと思います。広島の人たちの勇気や希望を思い、わたしは「戦争のない世の中にしていきたい」、そして「すべての人の命を大切にしていきたい」という気持ちを再確認した2日間でした。

豪州中学生派遣交流事業

オーストラリアに

行って来ました！



市内の中学3年生13人が、8月19日～27日の9日間、オーストラリアのゴールドコースト市を訪れました。

現地では、ホームステイ・語学研修・交流授業・農場体験・文化交流など、さまざまな体験をしました。言葉・文化・生活習慣の違いに戸惑いながらも充実した日々を過ごし、国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。参加した13人の日誌から、現地研修の様子を報告します。(敬称略)



市民参画交流課 (☎215549)



8月19日

伊勢市を出発

厚生中 藤川舞亜耶

ついにやってきた出発の日。全く行ったことのない場所へ行って、慣れない言葉を使わなくてはならない。ホストファミリーの家での生活など、考え出すときりがなく、とても不安だった。不安がいっぱいで落ち込むこともあるけど、やる限りにはいいものとしたと思うので、力の限り頑張ろうと思う。

8月20日

オーストラリアに到着

御園中 田端一陽

朝早くケアンズに到着。その後、飛行機を乗り換えてブリスベンに着いた。今日は一日中、雨と曇りだったが、雲の上に出ると晴天で太陽がともまぶしかった。

アボリジニセンターでは、オーストラリアの先住民であるアボリジニの歴史や文化について学んだ。ブーメランなど魅力のあるものがたくさんあった。
(関連記事：13ページ「一人ひとりが輝くために」)

8月21日

地元園児と交流 ホストファミリーと対面

皇學館中 中川昌大

今日からホームステイが始まる。この日は朝からドキドキしていた。「英語を話せるだろうか、大丈夫かな。」と本当にドキドキしていた。

五十鈴中 山中かな

藤国際幼稚園では、練習していったソーラン踊りを披露した。みんなと一緒に踊り、喜んでくれたうれしかった。ホストファミリーはお土産のだるま落としを気に入ってくれて何回もやった。



ぎやかで日本語を使う暇がなかった。みんな良い人たちで良かった。

8月22日～24日

オールセイন্ツ校での 研修

小俣中 倉田真衣

オールセイন্ツ校初日、実際に行ってみたら中は広く、生徒数は約1600人で、いろいろな教科を学んでいて驚いた。今日ここで心に残ったことは、学生と一緒に楽器を演奏したことである。「Very good」と褒められてうれしかった。たくさん英語を話すことができてとても良かった。明日も頑張ろうと思う。

御園中 東彩夏

この学校での生活は、わたしにとってはとても楽しいものだった。できればもっと居て勉強して

いたいと思った。オールセイイツ校の先生や生徒と話せて幸せだった。時々「こんにちは」と日本語で話し掛けてくれる人もいた。クリケットをしたり、一緒に絵を描いたり、いろんな思い出がたくさんある。

小俣中 角谷美波

オールセイイツ校での研修最終日、短期留学の修了証書をもたらった。練習してきたスピーチも上手に言うことができた。

生徒の前で踊ったソーラン踊りは、途中で感動して泣きそうだった。踊っている間、仲良くなった生徒が手を振ってくれてとてもうれしかった。

8月25日

パラダイスカントリー

皇學館中 河俣真由

動物好きのわたしにとって、パラダイスカントリー

リーは最高の場所だった。コアラを近くで見れたこと、カンガルーの餌付けをしたこと、子羊にミルクをあげたことなど、日本では体験できないことがたくさんできた。羊の毛刈りも初めて見てドキドキした。羊の中には毛が自然に抜けていくものもいて驚いた。

8月26日

ホストファミリーとの

一日

二見中 平野将崇

朝からホストファミリーの人たちとバーベキューをしに海まで行った。その後、いろいろな海に行つて、エレファントロックスという岩にも登った。ホストファミリーの双眼鏡を借りて海を見たら、クジラが見えてラッキーだった。

8月27日 日本へ帰国

五十鈴中 小堀もも

ブリスベンのホテルからバスで空港へ向かう。ホストファミリーやオールセイイツ校を思い出すと少し胸が痛かった。飛行機の中でも思い出したり、みんなといるんな話をしたりした。日本に着いたら、日本語ばかりの世界は逆にどこか新鮮でうれしかった。

ホストファミリーについて

小俣中 音野泰佑

僕がお世話になったのは、タルボットサンダーズさん一家だった。母親のジャッキーはとても親切で、日本語で分からないうところも理解してくれた。子どものハリソンとモーガンはとても元気でわんぱくで、毎日、サッカー・ラグビーなどをして遊んだ。そうすることでどんどん仲良くなったので、別れる時はとてもさみしかった。

研修を終えて

皇學館中 増田実咲

不安でいっぱいの中で出発し、何もかもが初めての体験ですごく戸惑った。でも、ホストファミリーなどと過ごすうちに、外見が違ってても、考えていることは一緒だと感じ、不安は知らないうちに消えてしまった。

色々なことに挑戦できて本当に行つて良かったなと思った。もっとオーストラリアに居たかった。

小俣中 藤波かおり

英語をもっと身近に感じたいと思いこの研修に参加したが、英語の面だけではなく、日常的な面でも気付かされたことがたくさんあった。研修を通してたくさんの課題を見つけることができた。また、いろんな人と接することは本当に大切だと思った。



現地の学生との交流（楽器演奏）

めざせ！ ごみゼロのまち



資源循環課(☎215543)

レジ袋有料化

順調にスタート!



スーパーマーケットにおいて、レジ袋の辞退率が8割を超え、順調なスタートを切ることができました。

今後も、辞退率の割合を維持し、地球温暖化防止と循環型社会構築のため、皆様のご理解・ご協力をお願いします。



ごみの出し方のお願い

残念なことに、最近、ごみの出し方が悪くなっているのが見受けられます。

ごみの減量化・資源化の推進、また、危険物の混入による危険防止のため、ごみ出しのルール・マナーを守ってください。



- 燃えるごみは、伊勢市指定ごみ袋に入れ、中身が確認できるようにして出す(中身全体を新聞・チラシ・段ボールなどでくるまない)
- 燃えるごみの中に、資源物を入れない
- ※カラス対策には、ふた付きバケツ・ネットなどを利用してください。

シリーズ防災

知る

災害は
やってくる

備える

行動する

危機管理課(☎215523)



地震への備え

〜家族で開こう、防災会議〜

地震はいつ、どこで起こるか分かりません。地震が起こっても慌てないように、月に一度は、家族で話し合ったり、訓練をしたりしておきましょう。

そうすることで、災害に

対する心構えもでき、いざというときに冷静な行動がとれるようになります。

地震の被害を最小限にするためには、日ごろからの備えが大切です。

自分の身の安全・家族の安全・まちの安全を、みんなで考えましょう。

防災会議のテーマ(例)

役割分担を決める

- 地震発生時の役割(火の元や電気器具の管理をする人、非常持ち出し袋を持ち出す人など)を決める

非常持ち出し品の確認

- 必要な持ち出し品がそろっているかを確認する
- 保存状態や使用期限を点検する

防災用具などの確認

- 消火器・バケツ・救急箱などの置き場所を確認する

- 消火器の使い方を覚えておく

避難場所・連絡方法の確認

- 避難場所や家族が離れ離れになったときの連絡方法を確認する
- 休日などを利用し、自宅から避難場所までの避難経路を確認する

危険個所の確認

- 家の内外の危険個所を手エックする

- 危険個所は、修理や補強方法について話し合う

人権シリーズ(No.22)

一人ひとりが輝くために

人権政策課
(☎21)5546)

アボリジニとのつながり ～豪州中学生派遣交流事業より～

市内の中学生13人が、8月19日～27日に、オーストラリア・ゴールドコースト市を訪れました。

充実した研修プログラムの中には、アボリジニ文化との出会いもありました。

オーストラリアには、18世紀末にイギリス人が移り住む以前から、先住民族のアボリジニが住んでいました。

アボリジニは、約1万年前にこの地にやって来た民族と言われ、褐色の肌、黒色のゆるい波状毛、濃いひげと体毛、高い眼窩、平たく広がった鼻翼を特徴とし

ています。

1780年代には約30万人が住んでいたようですが、1930年代には約5万人まで減少し、現在は約20万人に回復しています。

部族ごとに聖地があり、その一つ、一枚岩のウルル(エアーズロック)には、日本からも大勢の観光客が訪れています。

生徒たちは、アボリジニセンターで、アボリジニの職員から、歴史・道具・楽器(ディジャリデュ)・狩猟方法(ブーメラン)などの説明を受けました。また、実演の部では、遠くにいる仲間情報発信する方法を学びました。生徒も挑戦しましたが、見た目以上に難しかったようです。

現地の学校では、別のアボリジニから芸術を学ぶ機会がありました。カンガルーの絵に、白いペイントで格子を重ねていきます。アボリジニと中学生全員が共同制作した絵画は素晴らしい出来栄で、現在、市役

所本館・1階市民ホールに展示してあります。このように、参加した中学生は、ホームステイ体験だけでなく、先住民族の歴史や文化に触れるという貴重な体験をすることができました。

現在、中学校の英語の教科書には、世界各国の文化を紹介する教材がたくさんあります。また、小・中学校の社会科の授業では、日本の先住民族「アイヌ」についても学びます。

教育基本法に、次のような記述があります。――「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」。

産業や観光などの華やかな面だけに心を奪われるのではなく、先住民族の文化や人権にも配慮できる、国際的な視野を持った人材が、伊勢市にも育っていくことを願います。

尾崎行雄(ゆきお)は、伊勢の生まれではなく、1858(安政5)年、現在の神奈川県相模原市に生まれました。では、彼と伊勢には、どのようなつながりがあったのでしょうか。

尾崎行雄(ゆきお)は、伊勢の生まれではなく、1858(安政5)年、現在の神奈川県相模原市に生まれました。では、彼と伊勢には、どのようなつながりがあったのでしょうか。



伊勢の文化探訪シリーズ

ええとこ知っとこ

文化振興課 (☎22)7884

尾崎号堂記念館

その後、退官した父が伊勢で暮らしていたこともあり、31歳の号堂は、政治家を志して、この地域から第1回衆議院議員選挙に出馬します。

熱烈な地元住民の支持を受け、94歳までの63年間、衆議院議員に連続25回当選という偉業を達成しました。

尾崎号堂記念館には、当時、号堂を欧米に行かせるために餞別(せんべつ)を渡した人の名簿や、号堂が支持者に送った礼状なども展示してあります。

真の民主政治と世界平和の実現のために命懸けで活動した号堂と、「憲政の神」とたたえられた号堂の姿に心を打たれて懸命に支えてきた伊勢の住民との温かい心のつながりを、尾崎号堂記念館で感じ取ることができます。



尾崎号堂の銅像

☎ 4385

ホームページ <http://skc.e-ise.net/> Eメール skc@e-ise.net

NPO・ボランティア ただいま活躍中!
青春キネマ館&キッズシニアタワー実行委員会

☎ 0839

協働って何？

協働という言葉聞いたことがありますか？

最近、地方行政の中で盛んに協働という言葉が聞くようになりました。

地域自治のまちづくりを推進していく中で、行政だけでなく市民も一緒に考え、ともに公共サービスを行っていくことが、一番効率が良いという考えから、使われているようです。

さて、この協働という言葉には、さまざまな定義があります。

英語ではコラボレーションといい、芸術の世界で、異質の物が一緒になって一つの作品を作る場合に使われてきました。

「協働」や「コラボレーション」という言葉は、何かを成し遂げるといった意味合いがあります。

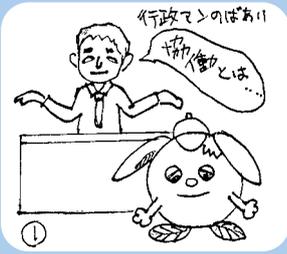
しかし、一般的にNPOは、単に安価な委託先にな

ったり、補助金が削減されたりしているため、協働の環境整備が以前より厳しくなっているのが現状であると思います。

皆さんは協働という言葉の意味をどう考えますか？



パルティ4コマ劇場



市民と行政が一緒に公共を考えることだよ



市民と行政が対等な立場で...



協働って何だろう？



協働って難しい言葉みたいですね

青春キネマ館&キッズシニアタワー実行委員会は、日本映画の懐かしい作品と、親子で楽しめるアニメ映画などの上映会を、1年につき数回、伊勢進富座(曾祢2丁目8-27)で行っています。

平成19年には、名張市在住の映画監督・田中徳三さんのトークイベントや、子どもを対象としたワークショップを行い、今後はイベントにも力を入れていく予定です。

自主上映会の会場が映画館というのは、全国でも珍しいことです。わたしたちがあくまで映画館での上映にこだわっている理由は、映画館が、町の文化サロンであった頃の機能を取り戻し、まちづくりの要点になって欲しいからです。

そして何よりも、大きなスクリーンで、みんなで一緒に映画を見る楽しさを思

い出して欲しい、または、知って欲しいのです。

ある映画監督に「映画を撮る時に、どの媒体で見ることを念頭に置いていますか」と質問したところ、彼は「もちろん、映画館の大きなスクリーンをイメージして『絵』を決めています」と即答しました。

作り手がイメージした通りの映画を見ることができるのは映画館だけです。

ぜひ、あなたも映画館に遊びに来てください。

また、わたしたちの活動に興味がある人は、お気軽に連絡してください。



子どもたちに映像の映り方を説明している様子



10月1日～平成20年3月31日

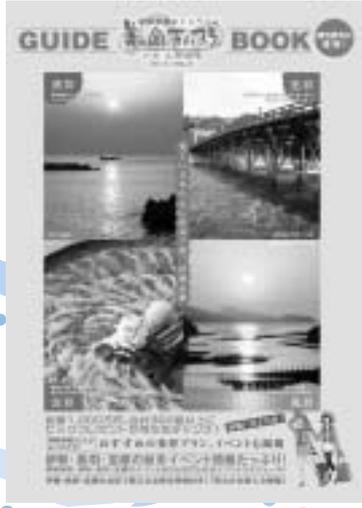
観光企画課 (☎215565)

始まっています！

みんなで盛り上げよう 伊勢志摩キャンペーン

今年で3回目を迎える「伊勢志摩キャンペーン」は、伊勢志摩地域へのさらなる誘客を図ることを目的に、10月から半年間、地域の皆さんと行政が一体となって取り組んでいます。

今回は、「神宮」をメインテーマとして、神宮関連行事やイベントを中心に展開しており、伊勢志摩の魅力である「食」「自然」をテーマにしたイベントや参加型のプログラムも多数あります。詳しくはガイドブックをご覧ください。



ガイドブックは、近鉄主要駅、伊勢市・鳥羽市・志摩市の観光案内所、観光企画課で無料配布しています。

友人・知人に伊勢志摩を紹介するための情報や、地元の人でも使えるお得な情報が盛りだくさんです。

また、伊勢志摩キャンペーンのホームページ(<http://www.unashi-kuni.jp/>)も情報満載ですので、ぜひご覧ください。

キャンペーンに関する 問い合わせ先

伊勢志摩キャンペーン実行委員会事務局(社)伊勢志摩観光コンベンション機構内 (☎440800)

健康づくり通信

みんな笑顔 伊勢の元気人

健康課
小俣保健センター
二見総合支所福祉健康課
御園総合支所福祉健康課
申し込み・問い合わせ 平日・午前8時30分～午後5時15分
(参加費などの記載のないものは無料)

乳がん検診

とき 11月7日(水)・①午前10時～11時・②午後1時～2時30分、11月26日(月)・③午前10時～11時・④午後1時～2時30分

申し込み 11月1日(木)から、電話またはFAXで健康課へ

※ペースメーカーやシリコンが入っている人、授乳中・妊娠中または妊娠の可能性がある人は、受診を避けてください。

子宮がん検診

とき ①11月7日(水)・午後1時～2時30分、②11月26日(月)・午後1時～2時30分

①小俣農村環境改善センター、②中央保健センター

定員 ①③45人、②④50人(いずれも先着順)

対象 市内在住で、今年度まだ受診していない人

料金 1100円(当日持ち物 バスタオル)

検診内容 医師による頸部

ヘルスマイト料理講習会

とき	ところ	定員 (先着順)
11月13日(水)	小俣保健センター	35人
11月16日(金)	ハートプラザみその	30人
11月17日(土)	福祉健康センター	30人
11月26日(月)	三津コミュニティセンター	20人
11月28日(水)	福祉健康センター	30人

※いずれも時間は、午前9時30分～午後1時です。

定員 各70人(先着順)
料金 1200円(当日持ち物 70歳以上は無料)
申し込み 11月1日(木)から、電話またはFAXで健康課へ

ヘルスマイト料理講習会

とき・ところ・定員 左表のとおり

対象 市内在住の人
テーマ 骨粗しょう症予防
参加費 300円(当日持ち物 エプロン、三角巾、米1/2カップ)

申し込み 11月2日(金)から、電話またはFAXで健康課へ



65歳以上の人を対象とする

検診車による

結核・肺がん集団検診

結核は、近年でも、高齢者を中心に発症しています。早期発見のためにも、ぜひ、この検診を利用してください。

また、喀痰検査は、肺の入口付近にできる肺がんの早期発見に有効です。痰が出やすく、喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上の人、または、6カ月以内に血痰があった人は、受診をお勧めします。

とき・ところ 下表のとおり

対象 満65歳以上で、今年度まだ受診していない人

料金 胸部レントゲン：100円、喀痰検査：800円

（ただし満70歳以上はいずれも無料）

持ち物 健康手帳（持っている人）、着脱しやすい服装（湿布などははがしておく）

結果通知 約1カ月後、受診者全員に通知します

結核・肺がん検診（予約は不要ですので、直接会場へお越しください）

とき	ところ	とき	ところ			
11月 6日(火)	9:00～ 9:50	市役所本館裏駐車場	11月14日(水)	13:00～13:40	宇治公民館	
	10:05～10:35	楠部町公民館		14:00～14:30	伊勢工業高等学校	
	10:50～11:20	中村町公民館		14:50～15:30	厚生小学校	
	13:00～13:30	大湊小学校		15:45～16:25	中島小学校	
	13:45～14:15	神社小学校	11月15日(木)	9:00～ 9:20	二見健康管理増進センター（松下）	
	14:30～15:00	小木町公民館		9:35～10:05	江コミュニティセンター	
	15:15～15:55	船江会館		10:20～10:55	二見公民館	
11月 8日(木)	9:00～ 9:30	松倉農村公園横		11:10～11:30	三津コミュニティセンター	
	9:45～10:25	ゆたか荘横（掛橋）		13:00～13:40	今一色公民館	
	10:40～11:30	小俣農村環境改善センター		13:55～14:15	西コミュニティセンター	
	13:00～13:40	南本町公民館		14:30～14:50	溝口会館	
	13:55～14:45	旧JA倉庫跡（上久保）	15:05～15:25	山田原公民館		
	15:00～15:50	湯田公民館	15:40～16:00	光の街コミュニティセンター		
11月 9日(金)	9:00～ 9:30	宮前保健福祉会館	11月16日(金)	9:00～ 9:30	梅谷電器（旭町354-2）	
	9:45～10:15	六軒屋公民館		9:45～10:15	宮本地区コミュニティセンター	
	10:30～10:50	西新村公民館		10:35～11:10	旧JA伊勢うぐいす台	
	11:05～11:35	東新村公民館		13:00～13:30	旧JA伊勢矢持購買所	
	13:00～13:50	小俣北部公民館		13:45～14:15	横輪公民館	
	14:05～14:55	近鉄明野駅南口前		14:35～15:00	沼木農村環境改善センター	
15:15～16:05	小俣保健センター	15:20～15:50		旧JA南部支店円座購買所		
11月12日(月)	9:00～ 9:30	JA伊勢中央支店一色		11月19日(月)	9:00～ 9:50	新高公民館
	9:45～10:15	通町公民館前	10:05～10:35		マンションフォレスト前（御園高向566-2）	
	10:40～11:10	朝熊市民館	10:50～11:30		ハートプラザみその	
	13:00～13:30	城田地区コミュニティセンター	13:00～13:40		新開公民館	
	13:50～14:20	坂東会館	13:55～14:25		王中島公民館	
	14:40～15:20	JR山田上り駅前	14:40～15:10		上條公民館	
11月13日(火)	9:00～ 9:40	東本町公民館	11月20日(火)		15:30～16:00	おかげバス御園小林バス停前
	9:55～10:40	新出公民館			9:00～ 9:30	修道幼稚園横
	10:55～11:30	大久保自治区公民館		9:45～10:25	桜木地藏堂会所（桜木町35-2）	
	13:00～13:40	南部防災倉庫（第一部）		10:40～11:10	五十鈴ヶ丘公民館	
	13:55～14:35	中小俣公民館		13:00～13:30	豊浜東小学校	
14:50～15:20	下小俣公民館	13:50～14:20		豊浜西小学校		
11月14日(水)	9:00～ 9:50	福祉健康センター		14:40～15:10	有滝町民会館	
	10:10～10:50	伊勢保健福祉事務所		15:30～16:00	北浜地区コミュニティセンター	
	11:05～11:35	JA伊勢支店河崎				

パパとママの教室

とき・対象・内容 左表のとおり

パパとママの教室

とき	対象	内容
<1日目> 12月8日(土) 10:00~12:00	初妊婦と夫	~2人で赤ちゃんを迎えるために~ ●沐浴実習 ●妊婦模擬体験 ●着せ替え体験
<2日目> 12月14日(金) 10:00~12:00	初妊婦	~これから始まる子育てについて~ ●保健師のお話 ●絵本の読み聞かせ

ところ 中央保健センター
定員 各30人程度(先着順)
持ち物 母子健康手帳
申し込み 11月2日(金)から、電話またはFAXで健康課へ

離乳食教室
とき 11月14日(水)、午前10時30分~正午
ところ ハートプラザみその

対象 市内在住の乳児(生後6カ月まで)の保護者
内容 離乳食(初期~中期)のお話と試食
定員 30人(先着順)
申し込み 11月2日(金)から、電話またはFAXで健康課へ

認知症を楽しく予防
脳活性化教室
(2日間コース)

認知症の中には、毎日の生活を改善することで、予防し、進行を防ぐことができるものもあります。
みんなで楽しく脳をイキイキさせることを学びませんか。

とき 11月19日(月)・26日(月) 午後1時30分~3時30分
ところ 中央保健センター
対象 市内在住の65歳以上で、両日とも参加できる人
内容 浜松二段階方式による認知症予防のための生活チェック、講話、実技など
定員 30人(先着順)
持ち物 眼鏡(必要な人)
申し込み 11月2日(金)から、電話またはFAXで健康課へ

休日・夜間の救急医療

一次救急	<p>〈症状〉 比較的軽症の場合…急病になったとき、救急車を呼びほどではないけれどすぐに治療を受けたいときなど</p> <p>〈医療機関〉 一次救急医療機関(かかりつけ医、休日・夜間応急診療所など)</p> <p>※重症の人や、右表の診療時間以外・診療科目以外で診療を受けたい人は、救急医療情報センター(☎281199、音声自動案内☎0800-100-1199、24時間受け付け)または医療ネットみえのホームページ(http://www.qq.pref.mie.jp/)へ問い合わせてください。</p>
二次救急	<p>〈症状〉 重症の場合…一次救急医療機関から紹介されたとき、救急車で搬送されるときなど、緊急な治療や入院が必要なとき</p> <p>〈医療機関〉 二次救急医療機関(山田赤十字病院、伊勢総合病院)</p> <p>※当番日を決め、交代で対応しています。</p>

休日・夜間応急診療所(一次救急)

診療日	診療時間	診療科目	当番医師
月曜日~土曜日	夜間 19:30~22:00	内科 小児科	内科
日曜日・祝日	昼間 10:00~12:00 13:00~17:00	内科 小児科 歯科	内科 小児科 歯科
	夜間 19:30~22:00	内科 小児科	内科 小児科

問い合わせ:内科・小児科(☎28795)
歯科(☎270829)

主な相談など

内容	とき	ところ	問い合わせ先
子育て相談	11月 6日(火)	二見老人福祉センター	二見総合支所福祉健康課
	11月13日(火)	9:30~11:00 中央保健センター	健康課
	11月20日(火)	13:30~15:00 ハートプラザみその	御園総合支所福祉健康課
	11月27日(火)	小俣保健センター	小俣保健センター
保健師・保育士の子育て健康相談 (子育て健康相談、身長・体重測定、親子ふれあい遊びなど)	11月 2日(金)	13:30~15:00 北浜地区コミュニティセンター	健康課または
	11月16日(金)	10:00~11:30 城田地区コミュニティセンター	きらら館(☎225592)
成人健康相談	11月 1日(木)	13:00~15:00 中央保健センター	健康課
	11月 6日(火)	13:30~14:30 ハートプラザみその	御園総合支所福祉健康課
	11月 7日(水)	9:30~11:00 小俣保健センター	小俣保健センター
	11月15日(木)	13:00~15:00 中央保健センター	健康課
成人栄養相談(要予約)	11月 1日(木)	13:00~15:00 中央保健センター	健康課
エイズ検査	毎週火曜日	8:45~11:00	伊勢保健福祉事務所 (県伊勢庁舎内)
	毎月第2火曜日 (11月13日)	17:30~19:00	
こころの健康相談(要予約)	11月15日(木)	13:00~15:00	伊勢保健福祉事務所 (☎275148)

※対象は、伊勢保健福祉事務所が実施するものは県内在住の人、そのほかは市内在住の人です。

11月 ○…休館日 □…おはなし会 ☆…上映会

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
☆11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間

火曜日～金曜日…午前9時～午後7時
土曜日・日曜日・祝日…午前9時～午後5時

おはなし会

とき 毎週土曜日、午後2時30分～
ところ 1階・おはなしコーナー

あかちゃんえほんのじかん

とき 11月22日(木)、午前11時～
ところ 2階・視聴覚室

上映会

とき 11月11日(日)、午後1時30分～
ところ 2階・視聴覚室
内容 「キャッツ&ドッグス」(日本語吹き替え版)

ふるさと文庫講演会

とき 11月18日(日)、午後2時～
ところ 2階・視聴覚室
内容 講演「わかりやすい伊勢神宮ガイド～外宮から内宮へ～」石垣仁久さん(神宮司庁広報室広報課係長)

定員 50人(先着順)
申し込み 11月1日(木)から、直接・電話・ファクスで同館へ

読書感想画を募集

読んだ本の感想を絵に描いてみませんか。
募集期間 10月30日(火)～11月11日(日)
展示期間 11月22日(木)～12月5日(水)
展示場所 2階・展示ホール
※画用紙は、同館カウンターで配布します。

施設利用抽選会(平成20年1月～3月分)

とき 11月6日(火)、午前10時～(受け付けは午前9時50分～)
ところ 2階・視聴覚室

うるしばらともよし 漆原智良講演会

とき 11月4日(日)、午後1時～2時30分
ところ 2階・視聴覚室
内容 講演「感性のたねをまきながら～本の世界で楽しもう～」
定員 90人(先着順)
申し込み 直接・電話・ファクスで同館へ

図書館へ行こう!

11月 ○…休館日 □…おはなし会 ☆…上映会

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	☆17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間

午前9時～午後7時



おはなし会

★赤ちゃんおはなし会 11月8日(木)、午前11時～
★たんぼおはなし会 11月10日(土)、午後3時～
★ピッポの会・紙芝居 11月18日(日)、午前11時～
★図書館おはなし会&おりがみ教室
(3歳児～小学生を対象に、おはなし会の後、簡単な折り紙教室を開催します)
11月24日(土)、午後3時～
※いずれも場所は、1階・おはなしのへやです。

上映会

とき 11月17日(土)、午後2時～
ところ 2階・視聴覚室
内容 人形アニメ「キティとミミィのあたらしいかさ」ほか2本

ギャラリー展示

★平山郁夫原画タペストリー展(同館所蔵品)
とき 11月15日(木)～30日(金)、午前9時～午後7時
ところ 2階・ギャラリー

内田麟太郎講演会

とき 11月18日(日)、午後2時～3時30分
ところ 2階・ホール
内容 講演「絵本があってよかったな～親子で親しむ絵本の世界～」
定員 300人(先着順)
申し込み 11月2日(金)から、同館カウンターへ(整理券を配布します)

今の特集コーナー

★芸術に親しもう
美術・音楽・スポーツなどに関する図書を紹介します。
★「内田麟太郎」特集
11月18日(日)に講演会を行う内田麟太郎さん(童話作家)の図書を紹介します。

図書館の利用者登録



伊勢図書館・小俣図書館を利用するためには、それぞれの図書館で、利用者登録をする必要があります。

利用者登録をしたいときは、住所が確認できるもの(免許証・健康保険証など)を持参し、各図書館カウンターへ申請してください。

情報コーナー

募集



市営住宅・

特定公共賃貸住宅の

入居者を募集

建築住宅課(☎②15597)

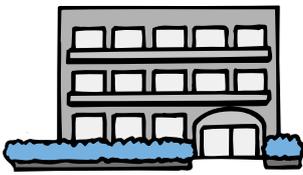
募集住宅 下表のとおり
申し込み資格 次の項目を
 すべて満たすこと

市営住宅

- 市内に住所または勤務先があり、住宅に困っている
- 夫婦（婚約者を含む）または親子を主体とし、同居予定家族がある（ただし、高齢者・心身障がい者など政令で定める人については、広さが3K以下の住宅に限り、単身で入居できる場合があります）
- 市区町村税完納者である
- 収入基準月額が20万円以下（就学前の子どもがいる世帯・高齢者世帯・心身障がい者世帯は26万8000円以下）である

特定公共賃貸住宅

- 夫婦（婚約者を含む）または親子を主体とし、同居予定家族がある
- 市区町村税完納者である
- 収入基準月額が20万円〜60万1000円である
- **申し込み** 11月5日(月)〜14日(水)に、申し込み用紙(11月1日(木)から同課で配布)に次の書類を添えて同課へ
- 平成18年分所得証明書(市区町村発行のもの)
- 入居世帯員全員の住民票の写し(本籍・続柄記載のもの)
- 市区町村税完納証明書
- そのほか、市が必要とする書類
- ※申し込み多数の場合は抽選となります。
- ※契約の際に、連帯保証人が2人必要です。



市営住宅

【家賃月額は、所得などにより異なりますので、同課へ問い合わせてください】

団地名(所在地)	構造※1	部屋数	階数	建設年度	浴槽	給湯	トイレ	駐車場	募集数	単身入居
倭C (倭町)	中耐5	3DK	5階	S61	有	無	水洗	有料(1台)	1	不可
宮中横 (浦口4丁目)	中耐3	2DK	3階	H14	有	有	水洗	有料(1台)	1	可
万所 (辻久留3丁目)	中耐3	3DK	2階	H12	有	有	水洗	有料(1台)	1	不可
			3階						1	
竹ヶ鼻第1(竹ヶ鼻町)	中耐4	3DK	3階	H9	有	有	水洗	有料(1台)	1	不可
竹ヶ鼻第2(神社港)	簡2	3K	1階	S58	有	無	水洗	無	1	可
大湊 (大湊町)	中耐3	3DK	1階	S48	無	無	水洗	団地で管理	1	不可
			3階						1	
旭 (旭町)	中耐4	2DK	3階	H10	有	有	水洗	有料(1台)	1	可
西豊浜 (西豊浜町)	簡2	2DK	1階	S53	無	無	水洗	有料(1台)	1	可
粟野 (粟野町)	簡平	2K	1階	S44	無	無	くみ取り	無	1	可
朝熊第1(朝熊町)	簡2	3DK	1階	H5	有	無	くみ取り	有料(1台)	1	不可
朝熊第3(朝熊町)	簡2	3DK	1階	S60	無	無	くみ取り	有料(1台)	1	不可

特定公共賃貸住宅(所得月額20万円以上の世帯向けに地方公共団体が供給する賃貸住宅)【家賃月額:63,000円】

団地名(所在地)	構造※1	部屋数	階数	建設年度	浴槽	給湯	トイレ	駐車場	募集数
旭 (旭町)	中耐3	3DK	1階	H11	有	有	水洗	有料(1台)	2
			2階						1
			3階						2

※1 簡平…簡易耐火平屋建、簡2…簡易耐火2階建、中耐3…中層耐火3階建、中耐4…中層耐火4階建、中耐5…中層耐火5階建
 ※2 いずれの建物も、耐震性が確認されています。

高齢者向け優良賃貸住宅の入居者を募集

社会福祉法人慈恵会

(☎③1800)

建築住宅課(☎②15597)

募集住宅 仲林マンション正邦苑竹ヶ鼻(竹ヶ鼻町198)

構造 中層耐火5階建
 ※エレベーター・緊急通報装置の設置、内装のバリアフリー化、耐震性の確認がされています。

部屋数 ①2DK、②1DK
家賃月額 ①8万5000円、②7万5000円
敷金 家賃の3カ月分
募集数 各1戸

申し込み資格 60歳以上の単身世帯・夫婦世帯・親族などの同居世帯(夫婦世帯の場合は、どちらかが60歳以上であれば可)

申し込み方法 11月30日(金)までに、同会へ
 ※申し込み多数の場合は抽選となります。
 ※入居者の所得に応じて、家賃の補助を受けることができます。

伊勢市下水道事業審議会の 委員を募集

上下水道総務課 (☎②15600)

対象 11月1日現在、市内在住で20歳以上の人

任期 委嘱の日より2年間

内容 下水道施設の整備計画など、伊勢市下水道事業に関する重要な事項について調査・審議します

定員 3人以内

申し込み 11月1日(木)より30日(金)当日消印有効(に、応募用紙・レポートを、直接または郵送・ファクス・Eメールで同課(〒516-8601岩淵1丁目7-29、FAX②15619、アドレス sui-sounu@city.ise.nie.jp)へ

※応募用紙は、同課にあります。また、市のホームページ (<http://www.city.ise.nie.jp>) からダウンロードできます。

※レポートは、「下水道に関する思い」下水道が目指す将来像」について、1200字程度(A4用紙・横書き)にまとめたものを作成してください。

選考方法 選考会議で書類審査を行います(結果は本人に通知します)

災害時通訳ボランティアを募集

(財)三重県国際交流財団

(☎津059・223・5006)
(☎②15549)

県では、災害時に、困難な状況にある外国人住民に、情報提供や問題解決の支援をする「災害時通訳ボランティア」を募集します。

対象 外国語で日常会話ができる人(言語は問いません)で、研修会に参加できる人

申し込み 11月1日(木)より30日(金)に、所定の用紙を、郵送・ファクス・Eメールで同財団(〒514-0009津市羽所町700アスト津3階、FAX津059・223・5007、アドレス mief@netfor.jp)へ

※所定の用紙は、同財団のホームページ (<http://www.mief.or.jp>) からダウンロードできます。

研修会

とき 1月末より2月

※応募した人に別途通知します。

災害対策事例説明会

(希望者のみ)
とき 12月5日(水)・午後(時間は未定)

ところ (財)三重北勢地域地場産業振興センター(四日市市安島1丁目3番18号)

催し物

参加費などの記載のないものは無料

地場産業展

工芸指導所内・地場産業展実行委員会事務局 (☎③81160)

地場産業の事業活動や製品を皆さんに知ってもらうため、次とおり開催します。

とき 11月3日(祝)・4日(日)、午前10時より午後4時

ところ 県営サンアリーナ

内容 市内で製造されている機械・船舶・電気機器・家具・建具・表具・伝統工芸品などの紹介、ラジコ工作、スタンプリリー抽選会、フリーマーケットなど

観光文化会館自主事業

KOBUDOー古武道ー

〜尺八・チェロ・ピアノコンサート〜
観光文化会館 (☎②85105)

とき 平成20年2月

3日(日)、午後3時より

(開場は午後2時30分)

ところ 観光文化会館

内容 藤原道山さん(尺八)・古川展生さん(チェロ)・妹尾武さん(ピアノ)



による演奏

入場料 2500円(全席指定)

※入場券は、11月10日(土)・午前9時から、観光文化会館・喫茶アイドル・相可屋楽器店・村林楽器伊勢店・喫茶花音(松阪市民文化会館内)・松阪村林楽器店(午前10時)・神戸屋楽器店・チケットぴあ(午前10時)で販売します。

明るい選挙推進運動

白ばらの集い

選挙管理委員会 (☎②15635)

とき 12月6日(木)、午後1時30分より3時30分

ところ いせ市民活動センター北館(シテイプラザ)・2階ホール

内容 講演「三重県の高投票率・低投票率地域について」荒木義修(よしのぶ)さん(武蔵野大学現代社会学部教授)、選挙啓発ビデオ上映

人権・平和・環境展

浜郷支所内・浜郷学区同和教育推進連絡協議会 (☎②4880)

とき 11月10日(土)、午前9時より午後3時

ところ 浜郷小学校・1階教室

内容 人権・平和・環境に関する資料や写真の展示

地域防災教育センター研修

危機管理課 (☎2155236)

さまざまな場面での自治組織の活動例と、災害時にも役立つ事前活動例などを紹介し、防災・災害対応は、住民の力を合わせるこゝとが大切であることを学びます。

とき 12月1日(土)、午前10時～11時45分

ところ ハートプラザみその

内容 講演「災害と自治組織」木村拓郎さん(株)社会安全研究所所長

申し込み 電話で同課へ

文化振興・人権フォーラム

日本の文化と思いやりの心

伊勢県民センター総務・生活室
(☎275118)

とき 11月25日(日)、午後1時30分～4時

ところ 県営サンアリーナ・レセプションルーム

内容

●舞、基調講演「舞人 西川まさ子 妻として母として」西川まさ子さん(日本舞踊西川流師範)

●パネルディスカッション「文化力と女性力で元気な地域を創る」パネラー…西川まさ子さん・前田

世利子さん(伊勢おはらい町会議世話人)・山本加奈子さん(島の旅社事務局長代理)

コーディネーター…土川禮子さん(名古屋経済大学非常勤講師)

●健康体操の体験

定員 約150人(先着順)

申し込み 11月1日(木)から、電話・ファクス・Eメールで同室(☎275251、アドレス ikemimino@pref.nie.jp)へ

若者の就労を考える親向けセミナー

うちの子が働くにはどうしたらいいの？

三重県若者自立支援センター
(☎津059・246・1212)

とき 11月25日(日)、午後1時30分～4時30分

ところ 労働福祉会館・3階第2会議室(勢田町)

対象 就労に不安を抱えた若者の親・家族

内容

若者の就労に向けて、親など家族ができる支援について考え、また、同じ課題を持つ家族同士の交流を行います

講師 浦田宗昭さん(NPO法人リベラヒューマンサポート理事)

定員 30人程度(先着順)

申し込み 11月20日(火)・午後5時までに、住所・氏名・連絡先(電話番号・メールアドレスなど)を、

電話・ファクス・Eメールで同センター(☎津059・222・3001、アドレス wakamonoo@pref.nie.jp)へ

就職面接会

伊勢商工会議所(☎255151)
商工労政課(☎215568)

とき 11月16日(金)、午後1時30分～3時30分

ところ 伊勢商工会議所・5階大ホール

対象

U・ターソン就職希望者、すでに学校を卒業している未就職者、中・高齢者の再就職希望者

参加予定企業 30社程度

※事前の申し込みは不要です。

障がい者就職面接会

伊勢公共職業安定所(☎278609)

とき 11月9日(金)、午後1時30分～3時30分

ところ 生涯学習センターいせトピア

対象

障がいのある求職中の求人

お知らせ



自立支援教育訓練給付金事業

子ども課(☎215561)

母子家庭の雇用の安定と就職の促進を図るため、自立支援の教育訓練を受ける人に、給付金を支給します。

対象者 市内に住所を有する母子家庭の母で、次の要件をすべて満たす人

- 児童扶養手当を受けているか、同程度の所得水準にある
- 雇用保険法による教育訓練給付を受ける資格がない
- 受けようとする教育訓練が、適職に就くために必要であると認められる

対象講座

●雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座

●就業に結びつく可能性の高い講座で、国が定めるもの

支給額 支払った教育訓練経費の10分の2(上限額10万円、4000円以下は支給しません)

※希望する人は、事前の相談が必要です。



三重県交通災害共済に加入を

交通政策課 (☎215508)
 二見総合支所地域振興課 (☎421111)
 小俣総合支所生活環境課 (☎27861)
 御園総合支所地域振興課 (☎20235)

三重県交通災害共済は、三重県が事業主体の任意保険です。

万一のときに備え、皆さんが互いに助け合う共済への加入をお勧めします。

平成20年分の加入申込書は、11月上旬に各世帯へ郵送します。

掛け金 1人につき年額500円

見舞金 最高120万円

申し込み 加入申込書と掛け金を、

同課・各総合支所・各支所・申込書の裏面に記載してある各金融機関へ

税を考えた週間

伊勢税務連絡協議会 (☎255155)
 課税課税務係 (☎215530)

とき 11月17日(土)・18日(日)、午前10時〜午後5時 (18日は午後7時まで)

ところ イオンララパークシヨット

ピングセンター・1階はあと広場 (小木町)

内容 税に関するパネル展示、小中学生による書道・作文の展示、無料税務相談、マジックシヨールなど

11月は

過重労働・賃金不払残業 解消キャンペーン月間

三重労働局監督課

(☎津059・226・2106)

賃金不払残業とは、時間外労働・休日労働をしたにもかかわらず割増賃金が支払われない、いわゆる「サービス残業」のことで、労働基準法に違反する行為です。

長時間にわたる過重な労働をすると、疲労が蓄積し、脳・心臓疾患(くも膜下出血・脳梗塞・心筋梗塞など)の発症につながるおそれがあります。

賃金不払残業や過重労働を解消するためには、労使ともに問題意識を持ち、協力することが必要です。

全国一斉無料相談ダイヤル

とき 11月23日(祝)、午前9時〜午後5時

電話番号 フリーダイヤル0120・897・283

ご存知ですか?

検察審査会

伊勢市簡易裁判所内・伊勢検察審査会事務局 (☎283135)
 選挙管理委員会事務局 (☎215635)

検察審査会とは、交通事故・詐欺・脅しなどの犯罪の被害に遭い、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその加害者を起訴しない場合に、「調べ直してほしい」との申し立てに基づいて、検察庁からの記録を取り寄せ、裁判にかけた方が良かったどうかを審査するところです。

検察審査会は、国民の中から選ばれた検察審査員によって構成されます。

この検察審査員の選定のため、各市町村の選挙管理委員会は、事前に検察審査員候補者を選定することが義務付けられています。

選定は、選挙人名簿を基にして公平な「くじ」で行われます。

検察審査員候補者や検察審査員に選ばれた場合は、民意を検察制度に反映させるため、協力をお願いします。



宝くじ助成で

「コミュニティの活性化

市民参画交流課 (☎215549)

(財)自治総合センターから、平成19年度宝くじ普及広報事業の助成を受け、次のとおりコミュニティの活性化の支援を行いました。

今後も、地域コミュニティの醸成に努めていきます。

- 二俣1丁目町会 祭り用具購入
- 鹿海町自治会 視聴覚機器購入
- 黒瀬町自治会 組立式屋外ステージ購入
- 下野町自治区 広報用具購入
- 西豊浜町上区自治会 「憩いの場」設置
- 藤里団地自治会 祭り用具購入



下野町自治区



二俣1丁目町会



西豊浜町上区自治会



鹿海町自治会



黒瀬町自治会



藤里団地自治会

■勢田川水質調査結果

環境課 (☎215542)

	測定地点	勢田川			
		姫之橋	北新橋	勢田大橋	一色大橋
BOD (mg/ℓ)	平成19年9月結果	2.5	15.0	3.7	2.7
	平成18年9月結果	2.0	6.2	11.0	3.7
	平成18年度平均	3.2	10.1	6.7	2.6
環境基準		5mg/ℓ以下 (勢田大橋)			

(9月10日 三重県環境保全事業団 分析)

BOD (生物化学的酸素要求量)

河川の汚濁物質(有機物)による汚れの指標で、数値が大きいほど汚れていることを示します。

水中の汚濁物質が微生物によって分解されるときに消費される酸素の量を「ミリグラム/リットル」で表したものです。



とき 11月9日(金)、午前10時～
ところ 市役所本館・3階委員会室
内容 伊勢都市計画道路の変更についての審議など
※傍聴を希望する人は、午前9時30分から、市役所本館・3階参与控室で受け付けを行います。

都市計画課 (☎215591)

伊勢市都市計画審議会の開催

ケーブルテレビ番組案内

※放送時間や内容は、変更することがありますので、ご了承ください。

伊勢市行政チャンネル番組表

アナログ10チャンネル・21チャンネル
広報広聴課 (☎215515)

伊勢市テレビ広報「みてきて伊勢」

放送時間：午前6時・9時・正午・午後3時・6時・9時～

■特集(11月)

- 下水道について

■お知らせ

10/29～11/4

- このごみ、何ごみ?

11/5～11

- いい歯の日

11/12～18

- 不妊治療費助成事業

11/19～25

- 夫婦岩の月の出

11/26～12/2

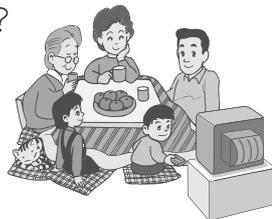
- 人権週間

■市民活動ニュース「おこないパルティ」

■伊勢の文化探訪「ええとこ知っとこ」

(放送日:11/16～30)

※アナログ21チャンネルは、御園地区のみの放送で、アナログ10チャンネルと同じ「特集」「お知らせ」などの行政情報や、お天気情報、防災情報をお伝えします。



アイティービーコミュニティチャンネル番組表

アナログ8チャンネル・デジタル701チャンネル
株アイティービー (☎フリーコール0120・270・089)

放送時間：午前6時～翌日午前2時

10/29～11/4

- オータムダイジェスト

(これまでに放送した番組のダイジェスト)

	11/5～11		11/12～18	
	分	番組	分	番組
奇数時間	0	iTVニュース	0	iTVニュース
	30	ひよこくらぶ	30	探歩々隊
	40	このまちの昭和	40	すぼこん
偶数時間	0	iTVニュース	0	iTVニュース
	20	和を楽しむ	20	PET☆PET
	30	鳥羽水族館 新・水の惑星紀行	30	ぐるぐるグルメ2 番外編
		46	伊勢志摩の特産品	

	11/19～25		11/26～12/2	
	分	番組	分	番組
奇数時間	0	iTVニュース	0	iTVニュース
	30	ぐるぐるグルメ2	30	MCTV遊味ing
	40	日本の暮らしのぞき箱	40	のんびりいこう
偶数時間	0	iTVニュース	0	iTVニュース
	20	おかげ横丁だより	20	イオン明和ケーブルナビ
	24	サンアリーナ通信	30	バラ組
	30	MUSIC JAM	42	PERSONNA+12

※上表の2時間分の番組を繰り返し放送します。

※iTVニュースは、月曜日～金曜日の毎日午後7時に更新します。土曜日・日曜日の午後7時からは、ニュースの週間ダイジェストを放送します。

種別	相談日など
婦人	とき 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 ところ 生活支援課 (☎215556)
母子	とき 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時15分 ところ こども課 (☎215561)
家庭児童	とき 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時15分 ところ こども課 (☎215561)
乳幼児	とき 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 ところ 大世古保育所 (☎253676)
家庭教育	とき 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ところ 家庭教育相談室「スマイルいせ」 (小俣総合支所・2階) (☎227887)
教育 <small>(小・中学生の不登校・いじめ・友人関係・学習など)</small>	とき 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ところ 教育研究所 (小俣総合支所・3階) (☎227867)
カウンセラーによる カウンセリング <small>(小・中学生の教育) 〈要予約〉</small>	とき 毎週水曜日・木曜日 午後1時～5時15分 ところ 教育研究所 (小俣総合支所・3階) (☎227867)
青少年 <small>(非行・いじめなど)</small>	とき 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ところ 青少年相談センター (小俣総合支所・2階) (☎227894)
就職	とき 毎週火曜日 (11月20日を除く) 午前10時～午後4時 ところ サンライフ伊勢 対象 市内に在住または通勤している 35歳以下の人またはその保護者、学校の進路担当教諭 定員 5人 (先着順) 申し込み おしごと広場みえ (☎津059-222-3309) または、商工労政課 (☎215568) へ電話
中高年齢者職業	とき 火曜日・日曜日・祝日を除く毎日 午前9時～午後5時 ところ 中高年齢者職業相談室 (サンライフ伊勢内) (☎281267)

種別	相談日など
障がい者・障がい児 <small>(福祉サービスの利用相談・日常生活や就労の相談支援など)</small>	とき 月曜日～金曜日 午前9時30分～午後6時 土曜日・日曜日・祝日 (実施しない場合があります) 午前9時30分～午後4時30分 ところ 障害者相談支援センター「プレス」 (宮町1丁目5-20) (☎206525) 相談方法 電話・来所
老人 在宅介護	とき 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ところ 地域包括支援センター (☎215583) とき 毎日24時間対応 ところ 各在宅介護支援センター 神路園 (☎226012) 双寿園 (☎239231) 白百合園 (☎271511) 山咲苑 (☎262600) 正邦苑 (☎381800) みなと (☎350811) 楽寿苑 (☎310050) 二見ふれあいプラザ (☎434423) 小俣 (☎271155) 相談方法 電話・来所
心配ごと	とき 第1水曜日 (11月7日) 午後1時～3時 ところ 小俣保健センター 問い合わせ 社会福祉協議会小俣支所 (☎270509) とき 第2水曜日 (11月14日) 午後1時～3時 ところ 社会福祉協議会伊勢支所 (福祉健康センター内) (☎272425) とき 第3水曜日 (11月21日) 午後1時～3時 ところ ハートプラザみその 問い合わせ 社会福祉協議会御園支所 (☎226617) とき 第4水曜日 (11月28日) 午後1時～3時 ところ 社会福祉協議会二見支所 (二見ふれあいプラザ内) (☎433994)

11月の無料相談

種別	相談日など	種別	相談日など
法律 <small>担当弁護士が、既に相手方の相談を受けている場合は、相談を受けることはできません</small>	とき 毎週月曜日 午後1時30分～3時30分 ところ 広報広聴課 (☎②15515) 対象 市内に住所を有する人 定員 8人(定員を超えた場合は抽選) 申し込み 相談日当日の午後1時15分までに広報広聴課へ来所	行政	とき 第1・3火曜日(11月6日・20日) 午後1時～3時 ところ 広報広聴課 (☎②15515)
	とき 11月1日(木) 午後1時30分～3時30分 ところ 小俣保健センター 対象 市内に住所を有する人 定員 4人(定員を超えた場合は抽選) 申し込み 10月25日(木)～31日(水)に、社会福祉協議会小俣支所(☎②70509)へ来所または電話		とき 第2火曜日(11月13日) 午後1時～3時 ところ 二見生涯学習センター 問い合わせ 二見総合支所地域振興課 (☎④21111)
	とき 11月15日(木) 午後1時30分～3時30分 ところ 社会福祉協議会御園支所(ハートプラザみその内) (☎②26617) 対象 市内に住所を有する人 定員 4人(定員を超えた場合は抽選) 申し込み 11月8日(木)～14日(水)に、社会福祉協議会御園支所へ来所または電話		とき 第4火曜日(11月27日) 午後1時～3時 ところ 小俣公民館 問い合わせ 小俣総合支所地域振興課 (☎②7858)
	とき 12月6日(木) 午後1時30分～3時30分 ところ 社会福祉協議会伊勢支所(福祉健康センター内) (☎②72425) 対象 市内に住所を有する人 定員 4人(定員を超えた場合は抽選) 申し込み 11月29日(木)～12月5日(水)に、社会福祉協議会伊勢支所へ来所または電話 ※11月中旬に申し込みを開始するため、今月号で掲載します。	登記	とき 第2火曜日(11月13日) 午後1時～4時 (受け付けは午後3時まで) ところ 広報広聴課 (☎②15515)
		人権	とき 第2木曜日(11月8日) 午後1時～4時 (受け付けは午後3時まで) ところ 広報広聴課 (☎②15515)
			とき 毎週火曜日・水曜日・金曜日 午前9時30分～午後4時30分 ところ 津地方法務局伊勢支局 (☎②86158)
交通事故	とき 第3水曜日(11月21日) 午後1時～3時 ところ 広報広聴課 (☎②15515) 定員 4人(先着順) 申し込み 相談日当日の午前8時30分から広報広聴課へ電話	公証 <small>(遺言・契約証明)</small>	とき 第1木曜日(11月1日) 午後1時～4時 (受け付けは午後2時まで) ところ 広報広聴課 (☎②15515)
	とき 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 (受け付けは午後3時30分まで) ところ 三重県交通事故相談窓口 (三重県栄町庁舎・3階) (☎津059-228-7350)	消費生活 <small>(架空請求・多重債務など)</small>	とき 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時 ところ 三重県消費生活センター (三重県栄町庁舎・3階) (☎津059-228-2212) 商工労政課 (☎②15512)



まちの話題

9/16 二見町江で消防訓練

江コミュニティセンターで、江地区の女性のボランティア団体「いちじくの会」が、江区・PTA・老人会などに呼び掛け、消防訓練を行いました。

訓練には約70人の住民が参加し、初期消火や住宅用火災警報機について講習を受けた後、実際に消火器を使い、消火訓練を行いました。

また、地元消防団が小型ポンプ操法を実演し、日ごろの訓練の成果を発揮しました。

訓練終了後、参加者は訓練の感想などを話し合い、火災の恐ろしさを再確認していました。



9/29 親子農業体験

明野高等学校の協力のもと、同校生徒の指導により、親子農業体験（全3回）を開催しています。

第1回目となったこの日は、親子約30人が参加し、イチゴの定植の仕方などについての講義を受けた後、生徒の熱心な指導を受けながら、実際にイチゴの苗を植えたり、お茶の手もみなどを体験しました。

参加者は「収穫が待ち遠しい」など、イチゴの成長を楽しみにしているようでした。



9/9 新出地区で防災訓練

新出地区（小俣町相合）で、火災が発生したことを想定した防災訓練が行われました。

この日行われた訓練は、消火器や可搬式ポンプ、消火栓などを実際に使用する実践的なもので、参加した68人は、消防職員の指導のもと、万一の場合に速やかに行動できるように、積極的に取り組んでいました。



9/22 障がい者体育祭

県営サンアリーナで第2回伊勢市障がい者体育祭が開催され、選手とボランティアの皆さん約400人が参加しました。

参加者たちは、車いす競争やロープ送りなどの競技で心地良い汗を流し、楽しいひとときを過ごしました。



10/6 朝熊山麓公園フットボール場がオープン

朝熊山麓公園内に人工芝サッカー場が完成したことを記念し、記念式典とサッカー教室が行われました。

サッカー教室に参加した約600人の子どもたちは、元サッカー日本代表の三浦泰年さんと岩本輝雄さんからのリフティングやドリブルなどの指導を受け、真新しいグラウンドの上で目を輝かせていました。



人の動き（9月末現在）

総人口	136,056人(-11人)	男性	64,602人(+4人)
世帯数	52,883世帯(+64世帯)	女性	71,454人(-15人)

※外国人登録者を含む。

■発行/伊勢市 ■編集/総務部広報広聴課
〒516-8601 伊勢市岩瀬1丁目7番29号
☎0596-21-5515 FAX0596-22-9699
URL <http://www.city.ise.mie.jp>
Eメール ise-koho@city.ise.mie.jp
広報いせ 第25号 平成19年11月1日発行
印刷 株式会社 アイブレーション